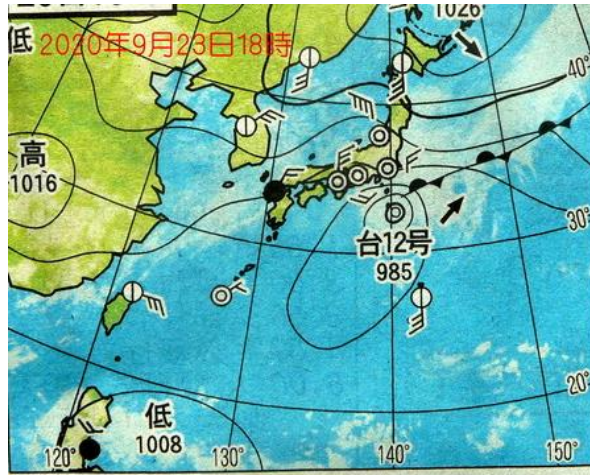


# 関東ふれあいの道を歩く（埼玉）⑬高原牧場を通るみち

2020年10月31日 池内淑皓

2020年9月23日（水）台風12号の影響で朝から雨、GO TOトラベルで宿を予約してしまったので仕方ない、完全装備で来たから予定のコースを歩く事にした。  
道は良く整備されていて、牧場を通る舗装道路が多いから、大丈夫だろう。



台風は北東に向きを変えつつあり、関東直撃はなさそうとの予想、大雨もなさそう



(首都圏自然歩道連絡協議会)

「関東ふれあいの道⑬高原牧場を通るみち」 高原牧場入口から長瀨駅まで 概念図



高原牧場入口バス停から長瀨駅まで行程図



前日駅前のホテルに宿泊。今日の最寄り鉄道駅は、秩父鉄道秩父駅からバスに乗る



秩父駅前から西武観光バス皆野行きに乗車、高原牧場入口で下車する（約20分）



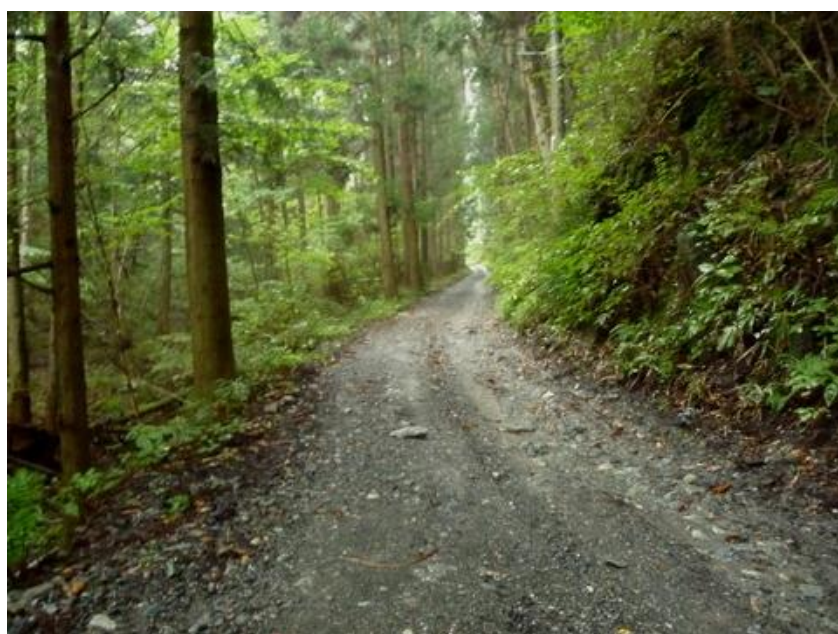
7:40分雨が降っているが仕方がない、完全装備で粥新田峠に向け出発。恐ろしや“熊”が出るそうだ



しばらくは牧場への舗装道路を歩く。雨が少し小降りになってきた



山道への入口、道標の傍らに彼岸花が一輪咲いていた



舗装から砂利道になったが谷沿いに林道が続く、雨が止んだ



林道を離れて、大霧山の尾根を巻くように取りつく



大霧山への分岐に出ると、尾根を越えて峠に近い。霧が流れている



「粥仁田峠」（粥新田峠）秩父地方から江戸に出る三大古街道の峠の一つ、多くの荷駄が行き交った。  
他は、釜伏峠を越える中山道通りと、正丸峠から吾野・飯能に出る秩父往還がある



峠の地蔵は健在であったが、常夜灯は近代の物に変わってしまった



ここからは、秩父高原牧場を通り抜けながらの歩行となる



コースは彩の国ふれあい牧場を通るから、寄って行こう



アア無常！今日は台風襲来のため休み、牛乳もアイスクリームも駄目だ



ガックリしながら歩いていると、二本木峠に到着。県道の交差点であるからベンチもない  
関東ふれあいの道は舗装道路から離れて、愛宕山に登る



「愛宕山 655m」ここには三等三角点と、ふれあいの道里程標が並んで設置されていた



「皇鈴山（679m）」高原のてっぺんにある平たい山で、休憩に最適な東屋がある。霧が出て来た



霧（雲）が立ち込めてきて、なかなか幻想的な雰囲気になってきた



霧の中を歩くのは素敵だね



登谷高原牧場の縁を歩く



「登谷山（668m）」何の変哲もない山頂。東は開けているが、西は電波塔で遮られている



釜伏峠、既述したとおり秩父から江戸に出る主要峠の一つ、ヤマトタケルが巡行の折り、神様に備える粥を釜で炊いたという神事が由来





「釜山神社」 峠に建つかなり立派な社。第九代開花天皇の皇子「日之雅皇子命」が釜伏山奥の院に祠を建てたのが始まり



ここからはゴールの長瀬まで下り一方の尾根道となる



「塞神峠」 長瀬から寄居方面への自動車道が行き交う



「風布集落」 明治 17 年の秩父事件の中心地。養蚕の大暴落に端を発した秩父困民党らのむしろ旗で、この地で風布組を結成して蜂起したが、政府軍に鎮圧された事件



風布集落を抜けると荒川のほとりに出て、荒川を金石水管橋（人道専用橋）で渡る



橋を渡れば 20 分程で、秩父鉄道長瀬駅に到着 14:25 であった。結局、粥仁田峠から雨に降られなかった。



15:04の電車に乗って、熊谷経由で帰った。

[参考タイム]秩父駅(7:07)→高原牧場入口(7:30-7:40) 粥仁田峠(9:00-9:05)→  
二本木峠(10:10-10:20)→皇鈴山(10:55-11:10) 昼→登谷山(11:40-11:50)  
→釜伏峠(12:10-15:15)→釜山神社(12:20)→塞神峠(13:00)→金石水管橋(14:05)  
→長瀬駅(14:25-15:06)→熊谷駅(15:53)

この項完

「関東ふれあいの道を歩く⑦長瀬の自然と歴史を学ぶみち」に続く